

SEMA ツアー2014 報告書

- 企画／主催 オートアフターマーケット活性化連合(AAAL)
 ■旅行企画実施 (株)JTB コーポレートセールス 霞が関第五事業部 営業第三課
 ■期間／旅程

| | | | |
|-----|----------|---------|--|
| 1日目 | 11月1日(土) | デトロイト視察 | <ul style="list-style-type: none"> ・Michigan Central Train Depot/ ・Michigan Avenue ・Highland Park/Woodward Avenue/ ・Greek Town |
| 2日目 | 11月2日(日) | デトロイト視察 | <ul style="list-style-type: none"> ・Automotive Hall of Fame ・Henry Ford Museum ・Henry Ford Museum Café ・Greenfield Village ・Detroit Historical Society |
| 3日目 | 11月3日(月) | デトロイト視察 | <ul style="list-style-type: none"> ・Toyota Ann Arbor(ディーラー視察) ・Advance Auto Parts ・O`Relly Auto Parts ・Oakland Mall ・Troy Motor Mall<<モーターショー内のディーラー>> ・GM World/GM Renaissance Tower ・Consulate General of Japan office (在デトロイト日本国領事館にてセミナー) |
| 4日目 | 11月4日(火) | ラスベガス視察 | ・SEMA SHOW 自由視察 |
| 5日目 | 11月5日(水) | ラスベガス視察 | ・SEMA SHOW 自由視察 |
| 6日目 | 11月6日(木) | ラスベガス視察 | <ul style="list-style-type: none"> ・バスプロショップ ・ペップボーイズ ・オートゾーン ・フィンドレー・キャディラックディーラー ・ウォルマート・スーパーセンター ・プレミアアウトレット・ノース |
| 7日目 | 11月7日(金) | ラスベガス発 | 移動日 成田へ(ポーランド乗継) |
| 8日目 | 11月8日(土) | 東京(成田)着 | 到着後、解散へ |

■参加者 (24名)

※順不同・敬称略

| | | | |
|---|----------------|-------|-------------|
| 1 | 株式会社オートバックスセブン | 住野 耕三 | 取締役常務執行役員 |
| 2 | 株式会社オートバックスセブン | 川添 義将 | 商品開発部 |
| 3 | 株式会社オートバックスセブン | 釜元 正明 | タイヤ・ホイール商品部 |

| | | | |
|----|---------------------|--------|----------------------|
| 4 | 株式会社タクティー | 能登 義孝 | タイヤバッテリー商品部第2商品室 室長 |
| 5 | 株式会社タクティー | 野間 剛 | マーケティング部プロジェクト推進室 室長 |
| 6 | 株式会社ボンフォーム | 矢野 弘行 | 営業本部 統括部長 |
| 7 | エイケン工業株式会社 | 早馬 義光 | 代表取締役社長 |
| 8 | 星光産業株式会社 | 若槻 浩隆 | 製品企画室 室長 |
| 9 | 星光産業株式会社 | 越智 裕之 | 製品企画室 課長 |
| 10 | 株式会社セイワ | 木村 達人 | 営業部 課長 |
| 11 | 錦産業株式会社 | 伊藤 太一 | 営業部一課 |
| 12 | 株式会社岡田製作所 | 岡田 陽一 | 営業部 係長 |
| 13 | ハマニ化成株式会社 | 野村 純司 | 海外部 取締役 |
| 14 | ハマニ化成株式会社 | 池野 君則 | 営業部営業1G 係長 |
| 15 | 株式会社カーメイト | 鈴木 英介 | 福岡営業所 所長 |
| 16 | 株式会社エッチ・ケー・エス | 川北 真也 | 営業部 取締役 営業部長 |
| 17 | 株式会社エッチ・ケー・エス | 清水 潔 | 営業部海外営業課 課長 |
| 18 | 株式会社ワーク | 土井 祐介 | 営業部名古屋営業所 リーダー |
| 19 | 株式会社ワーク | 稲澤 彰 | 大宮営業所 所長 |
| 20 | 株式会社ワーク | 嶋村 友彰 | 製造部開発課 |
| 21 | 株式会社ワーク AMP 開発課 | 岡崎 淳 | 製造部 開発課 |
| 22 | 一般社団法人自動車用品小売業協会 | 中小路 俊康 | 事業推進部長 |
| 23 | 日本オートケミカル工業会 | 滝澤 政明 | 専務理事 |
| 24 | 株式会社 JTB コーポレートセールス | 石井 良和 | 添乗員 |

2006年から毎年実施している SEMA ツアーも今年で9回目を迎えました。

今回の SEMA ツアーは昨年度と同じコース デトロイト3(スリー)の本拠地 米国自動車産業発祥地デトロイト視察に焦点を当てた企画で実施いたしました。

【デトロイト再生へ一歩】

昨年デトロイト市がアメリカ連邦破産法第9条による保護を申請したことは既にメディア等で報じられました。

今回現地の視察で感じたのは、早くもデトロイト市の復興工事が始まっており、一度廃線した路面電車の復活工事が始まっていました。又 中心部の土地価格が上昇傾向で土地の買い占めも進み価格が数倍～10倍上がった地域もあり明るい兆しが見えてきていました。

米国自動車メーカー デトロイト・スリー(GM、FORD、FIAT CHRYSLER)の業績が、昨年度から自動車生産及び売上は順調に伸び、特に個人消費に勢いが加わり、大型 SUV、ピックアップの売り上げが好調のようです。



- ・GM 本社ビル 「GM ルネッサンスセンター」デトロイト市の中心にあります、マリオットホテル、日本領事館も入っています。
- ・GM 車ショールームが入っており全てのブランドがココで見られ触れチェック出来ます。

【在デトロイト日本国総領事館 セミナー:「米国自動車販売の現状」】

2014 年 9 月の新車販売台数は容易かつ低金利なローン、低いガソリン価格、新型車の投入等により引き続き好調であり、単月では過去 10 年間で最大となりました。(単月で前年同月比 9.4%増、累計で同 5.5%増)
ピックアップトラック(フォードは年末の新型車投入を見越した在庫整理、買い控え等により減少)や SUV が好調であり、特に前者は販売上位車種 1・2・3 位を独占。・2014 年の累計市場シェアは、米国勢:45.1%、日本勢:37.7%、欧州勢:9.0%、韓国勢:8.1%。(GAR 調べ)

住宅と PicUp トラックが売れる事は景気が良くなった証拠と現地では言われています。



右・領事館会議室から見たデトロイト市の中心ダウンタウン
 左・在デトロイト日本国総領事館 片山様 高瀬様

【デトロイト市内】



ようやく町の復興作業が動き始め 古いビル等復興プロジェクトのスタートし、デトロイト市内に人が戻る復活へのスタートが始まったようです。
 ミシガン中央駅は 1913 年に設立された 18 階建てのビルです。建設当時は世界で最も高い鉄道駅として有名になりました。1975 年に国家歴史登録財に指定 しかし 1988 年に閉鎖され今は観光名所になっています。



右の写真は、デトロイトタイガースの本拠地である「コメリカ・パーク」球場。古いレンガ壁のビルは 1920 年代のビルです。

【ヘンリー・フォード博物館]・「グリーンフィールドビレッジ」】

エジソン学会(Edison Institute)が管理・運営するヘンリーフォード博物館は、(正式には “ヘンリーフォード博物館とグリーンフィールドビレッジ:Henry Ford Museum and Greenfield Village)アメリカ最大級でミシガン州メトロ・デトロイトエリアに属する、ディアボーンの博物館複合施設であり、アメリカ合衆国国定歴史建造物に指定されている。

館内はとても広く高く、蒸気機関・発電機、ファニチャー、生活文化等のコーナーが有りゆっくり見ると1日が必要となる。更に博物館の外(反対側)にグリーンフィールドビレッジが有り、1920 年代の町(村)を忠実に再現してある。こちらも見学には半日以上の時間が必要です。



【自動車殿堂(Automotive Hall Of Holl)】

CVCC エンジンの開発を主導、シビックに搭載し 1970 年代の米国排気ガス基準を満たした最初のメーカーとして、自動車殿堂に 1989 年 本田総一郎が殿堂入りしている。
HONDA ACCORD 米国 OHIO 工場第1号車が展示してある。



【グリーンフィールドビレッジ】



T 型フォード全盛の1920代のディアボーンの街(村)を再現し、自動車や蒸気機関車も当時のモノを走らせています。スタッフの服装も、建物も全て 1920 年代をイメージしています。
視察で、T 型 FORD に乗っていましたが、前進 2 速・後進 1 速・2400CC・4 気筒エンジンは何の問題も無くスムーズに加速しました。

【エジソン研究所】



ここでエジソンがいろいろな研究・実験をしました。
天上に小さく見えるのが電球です。日本の竹を使ったフィラメントです。この電球の明るさはたった 6W、10 個合わせても 60W です。

【FORD MOTOR COMPANY】 設立当時を再現



T 型フォードは 16 年間販売つづけ 全世界で 1500 万台を販売した。

【デトロイト市内「小売店舗クリニック」】



・シアーズ・オートセンター Sears Auto Senter
庶民デパートとして有名なシアーズのオート部門。
パーツ販売だけでなく ピットも備えており、タイヤ交換から整備までこなします。
朝会社へ行く前に車を預け夕刻に引き取りに来ます。



・アドバンス・オート・パーツ Advance Auto Parts

米自動車部品小売り1位

ゼネラル・パーツ・インターナショナルを買収し補修部品市場(アフターマーケット)で Auto Zone を抜き北米最大の自動車部品プロバイダーとなった。

パーツ&アクセサリーの販売のみで Pit サービスは無く、駐車台数も 10 数台と狭い小型店である。

主にパーツとアクセサリーを販売しておりメンテナンスやバッテリー交換修理等のサービスは一切行なわない。

ライバルは オートゾーン Auto Zone



・ダンニング・トヨタ/DUNNING TOYOTA

複数のオートディーラーの集まるアナーバー通りにあるトヨタのディーラー。

トヨタと若者向けのサイオンブランドを取扱い、併設した棟でスバルディーラーも展開。

顧客満足向上を達成する為には、まず社員にそれを解ってもらう事が一番大切だと言う副社長兼ゼネラルマネージャーのジョンFテイラー氏。

テイラー氏の説明によるとトヨタから日本式のカイゼン(改善)を学び、少しずつ親切な対応、お客様がどう喜んでいただけ

るかを実践しているとの事。

テイラー氏の話す内容は日本人の(トヨタマン)ような感じを受け、ピットサービスに来るお客様の対応も笑顔で迎えている姿に感動すら覚えた。



土地柄か、FRS(86)の売り上げが今一步。

併設している隣の SUBARU 店の FRZ の方が良いとか(笑)

【SEMA SHOW 2014 Las Vegas 視察】

昨年以上の賑わいを見せていた会場の人と展示車両の数！

米国自動車メーカーの売上好調と正比例しているかのように昨年以上の規模、展示数です。デトロイト3はマッスルカー(GMカマロ、FORD マスタング、CHRYSLER チャレンジャー)と BIG・SUV に力を入れた展示です。

・一時展示台数が減った日本車も元気になってきました。「TOYOTA・86」、アメリカでは SCION サイオンブランド「SCION・FR-S」で販売されています。このFR-Sの展示車両が多いこと！アメリカでの人気に分ります。



写真: MAZDA 新型 MX5 来年のワンメイクレース仕様

【日本からカー用品メーカーの出展】

・星光産業 SEIKOSANGYO

「JAPAN DESIGN&QUALITY」をアピール車内用品・灰皿・携帯電話関連商品



・カーメイト

「RAZO (レッツォ)」ブランド名のブースですシフトノブ、ペダルの商品

展示車は「SCION・FR-S」(TOYOTA86)



・PIAA Corporation

LED ライトをメインに展示車のヘッドライトも HID から LED の時代です



【LAS VEGAS 小売店舗クリニック】



・バスプロショップ Outdoor World by BassPro Shop

アメリカ最大のアウトドア・スポーツ用品チェーンストアで、衣料品・靴からモーターボート、拳銃・ライフルまでの品揃えです。

店内はとても広く 人口の川・滝が有り水が流れている。エンターテイメント型大型カテゴリーキラー。



・ペップボーイズ ThePepBoys

オートパーツ及びオートアクセサリ販売の小売チェーン店。2013 年業界売上全米 4 位。駐車台数を多くし、ピットサービス(取り付け)が特徴。

タイヤ、オイル交換が出来るのが他のパーツショップとの違い。

店長の話だとピットサービス売上が全体の 60%(粗利率 60%)、物品売上が 40%(粗利率 15%)、



・オートゾーン AutoZone

米自動車部品小売り 2 位。

昨年までパーツ売上 1 位だったが首位を Advance Auto Parts に譲った。

パーツ&アクセサリの販売のみで Pit サービスが無いのが特徴。上のペップボーイズと対象店。

駐車台数も 10 数台と狭い小型である。



・Las Vegas Valley Automall(バレーオートモール)」

ラスベガス近隣で最大のオートモール

18のディーラー及び24のブランドが集積されたオートモール。バレーオートモールは、ラスベガスの隣町であるヘンダーソン市に立地しラスベガスのストリップ

から東南に約20マイル(約30キロ)に位置するラスベガス近郊では最大の車ディーラー集積地区となる。現在では南ネバダでは最大のオートモールまでに成長した。このオートモールという形式はアメリカ人のクルマ購入方法に非常に適していることがその成長の要因の一つとなっている。

18も数あるディーラーの中から、今回は GM グループのキャデラックディーラー「Findlay CADELAC」を訪問。



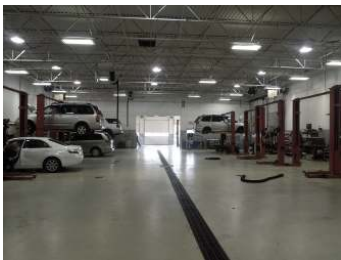
「キャデラックディーラー「Findlay CADELAC」」

キャデラック(Cadillac)は、ゼネラルモーターズが展開している高級車ブランドである。

外観は普通の建物のディーラーであるが、中に入って驚いたのが新車屋内展示 80 台の圧倒的ボリューム感。



更に・地下に高さ6M、48台のリフト 広い整備工場
夏のラスベガスの気温は45度Cを越える為 お客様に快適な環境とリラックスできる場を提供している。



FindlayCADELAC セールスマネージャー ビル・ヤングさんの説明によるとキャデラックのオーナーの平均年齢は60歳で、ゆっくりした運転を楽しんでいるとの事。
リピート率 80% 一度オーナーになると他車への乗り換えは余りしないようだ。
20%はメルセデス、BMW、レクサスへ移行と説明があった。

「まとめ」

・米国ミシガン州南東部にある都市デトロイト、日本車が少なく、アメ車(デトロイト 3)が多い地に広く・大きなアメリカを感じました。交通インフラが自家用車しかない現地ではクルマの依存、生活必需品として重要な道具(アイテム)です。

その中で TOYOTA 車を扱っているトヨタディーラーDUNNING TOYOTA の高レベルな接客サービスは、日本式の良い所を取り入れ徐々にシェアを上げている点などマネージャーの説明に感動をうけました。

・ラスベガスでのキャデラックディーラーFindlay CADELAC では、地下にある広大な「ピットサービス工場」をはじめ 至れり尽くせりのサービスは、リピーター率 80%に現れています。

・アメリカ小売業は、価格ディスカウントか、価格は下げずにサービスの質で満足させるかの 2極化が進んでいるよう



です。

最後に、在デトロイト日本国総領事館 片山様 高瀬様、JAC の倉本様 ありがとうございました。
この場をお借りしてお礼申し上げます。

報告者:JACA・JAAMA 事務局長 滝澤政明